

第四回定例会

第4回定例会は、12月12日から15日までの4日間の日程で開催され、令和5年度各会計補正予算案、条例改正案などの議案11件の審議と、赤平市選挙管理委員などの選挙2件を行いました。全ての議案が全会一致で可決・同意となりました。

一般質問は、14日に4名、15日に3名が行いました。(内容は3ページ以降に抜粋を掲載)

あかびら市議会

かわら版

No. 70

能登半島地震のお見舞いメッセージ

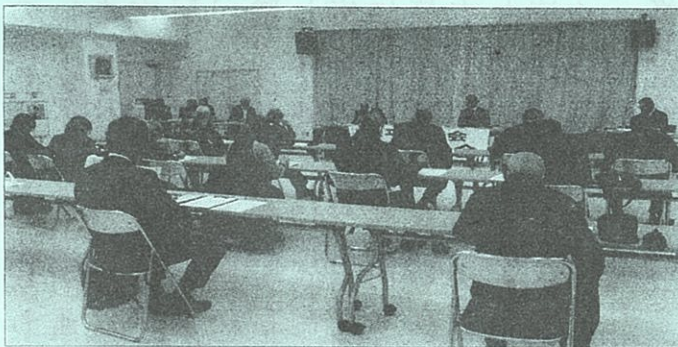
この度の令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に、お悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様ならびに、そのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

被害に遭われた地域の方々のご無事をお祈り申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興、そして被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを、赤平市議会議員一同、心よりお祈り申し上げます。

尚、赤平市議会（議員会）として、石川県、加賀市に対してそれぞれに5万円の義援金を送らせていただきました。

議会報告と意見交換会

11月14日、16日に議会報告と意見交換会を議場と東公民館にて行いました。議場7名、東公民館17名、合計24名の方にご参加いただきました。主に意見交換会では有害鳥獣対策や除雪、乗合タクシー等の公共交通、赤平市の存続について、学校でのいじめや不登校児童など教育面での意見がありました。議会と致しましては市民の皆様と今後も様々なこうした機会を考えながら、更なる身近な議会、声の届く議会を目指し取り組んで参ります。



一般質問

新政クラブ



安藤 繁

太陽光発電について

【質問】太陽光発電施設
の設置の規制について、
国の動向と当市の条例制
定の取り組み状況につい
て伺う。

【答弁】国の10月の発
表では、来年4月規程法
施行で進めている。当市
は、方向性の決定を見守っ
ている状況。

【質問】市が先に条例を
制定し、国の法律改正後
に、見直す必要があるば
改正する事としては、如
何か伺う。

【答弁】今回の国の法改
正だけでは、近隣住民の
生活環境に影響を及ぼす
設置も懸念され、指摘を
踏まえ、より実効性のあ
る条例制定に取り組む。

熊の出没について

【質問】クマによる被害
状況や被害回避する為の
猟友会会員の確保や捕獲
技術の向上、財政支援や
「春期管理捕獲」促進事
業の活用についての考え
を伺う。

【答弁】被害報告は受け
ていない。今年度に入り、
男性2名が猟友会に加入
した。「広報あかびら」
に掲載し、町内会長会議で
熊についての情報を提供
しており、今後も、出前
講座等を通じ学ぶ機会を
積極的に設けて行く。

「春期管理捕獲」の補助
制度の活用については、
猟友会と実施の可否を含
めて協議を行う。

【質問】熊の目撃看板の
サイズを大きくしたり、
カラフルにして目立つよ
うに出来ないか、併せて
目撃情報を町内会長に提
供し、会員に注意喚起が
出来る様に配慮しては如
何か。

【答弁】歩行者や運転手
に分かり易い色使いを含
め、今後も工夫に努める。

情報はホームページやラ
インにも掲載しているが、
状況に応じ適宜判断し町
内会長にも周知する。

環境問題について

【質問】当市は、管内で
も防犯カメラの設置数が
少ないとの話である。不
法投棄抑止や行方不明者
の動向確認、防犯対策等
にカメラ設置は効果があ
るが、対応について伺う。
【答弁】市や防犯協会で
も設置している。効果は
認識しているが、高額で
あり管理面での問題もあ
り、今後も研究していく。

民主クラブ



若山 武信

機構改革による効率的な
行政運営について

【質問】今後は効率的な
行政運営の構築が必要と
考える。部長制を復活し
現在の課を3ブロック程
度に集約、業務量による

課の人員の調整や業務内
容の得手不得手の調整も
行い、全体的な効率的運
営を図るべき。責任者は
副市長とし単独の課はそ
の配下へ移し、年毎に調
整、財政事情も考慮し課
長職務の部長制へと移
行し、最終的には部長制
を廃止するという私の提
案について考え方を伺う。

【答弁】機構改革は、私
の市政2期目における重
要な施策の一つ、慎重か
つ速やかに検討を進めて
いく。

研修制度の充実について

【質問】職員の仕事に対
する知識、能力向上など
の人材育成が重要。職員
研修の実施状況を伺う。

【答弁】新採用職員研修
は、法令や財政状況、事
務処理等に関する研修を
毎年実施。令和5年度ま
まで27名、一般の係職
員から管理職までの集合
研修、市役所内で受講で
きるオンライン研修にて

4年度は23名、5年度
は24名、中空知広域市
町村組合ではクレーム対
応やメンタルヘルス等の

集合研修、昨年度11名、
今年度16名。

エアコン設置費助成につ
いて

【質問】今年のような猛
暑が続くと非課税の高齡
者世帯は冷房装置設置費
助成が必要。特に非課税
の後期高齢者や障害者、
また、ひとり親世帯への
財政支援も必要。福祉灯
油並みの助成額に社協か
らの貸付金(3万円)も
利用することで、エアコ
ンの設置がしやすくなる
のでは。考え方を伺う。

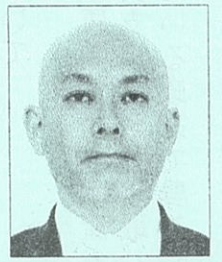
【質問】提案内容も踏ま
え、今後検討していきたく
いと考える。

特殊詐欺被害等防止機器
購入費助成について

【質問】高齢者の特殊詐
欺被害が毎日のように発
生。AI対応の商品を含
む対策機器が販売、購入
費助成について伺う。

【答弁】赤歌警察署や防
犯協会とも現状、二ス
等も確認、協議をし、ど
のような対策が効果的か、
助成も含め検討する。

無所属クラブ



木村 恵

公共交通について

【質問】乗合タクシーには、市民からの要望が多
くあるが検討状況を伺う。

【答弁】乗合タクシーは、JRや中央バスなど既存の公共交通を補完するものであり、市内のタクシー会社1社による対応となっていることから事業者負担も配慮しなければ継続が困難。こうした事情も考慮し検討を進めている。

【質問】そういった部分
が連絡所の増設や便数増の要望に応えることが難しい要因だと思ふ。できるだけ前向きに協議して経過も含め市民周知してほしい。この点について
の考えを伺う。

【答弁】利用者要望と事業者負担の調整をして継続可能な事業内容を決定

していくのは難しい面もあるが、実情を丁寧に伝えて検討を進めていく。議論の経過も含め広報やホームページなどで周知していく。

水道事業について

【質問】水道事業戦略では、令和5年度から水道料金の値上げ予定だったが、値上げされていない。計画を見直す必要もあるのではないかと思ふが考えを伺う。

【答弁】コロナ禍の影響に物価高騰も重なり、市民生活への負担を考え、料金改定まで至っていない。令和6年度に再検討を行い令和7年度の値上げを検討していきたい。

【質問】実質的な計画変更にあたると思ふ。市民負担を考慮して値上げしなかつたのなら理由も含め報告すべきだと思ふが考えを伺う。

【答弁】料金改定を行わなかつたので改めて議会

への報告はしてなかつた。今後は経営戦略の見直しや料金改定を行う際には報告していく。

【質問】令和7年度の値上げ幅が現計画よりも大きくはならないか伺う。

【答弁】令和5年度からの値上げ分もまとめて引き上げると市民負担も大きいものと考えている。物価高騰など情勢の変化も踏まえ慎重に判断していく。

新政クラブ



北市 勲

地域公共交通について

【質問】中空知の公共交通を協議する「中空知地域公共交通活性化協議会」に赤平市の基本的な考え「従来の路線と便数を確保」を持って臨むとしていたが、今回の減便で基本的な考えが変わってし

まった。「中空知地域公共交通活性化協議会」で、どの様な議論を交わされ、赤平市の基本的な考えが何故変わったのか説明を伺う。

【答弁】路線の存続、維持のために赤字額を早期に圧縮する必要があり、経費節減策や運転手不足により減便は避けられず、赤平市の基本的な考え「従来の路線と便数を確保」は維持出来なかつた。

【質問】平日の減便回避の対応を伺う。

【答弁】路線存続に必要なとする赤字補填を早急に開始しなければならず負担按分方法や利用者の減につながらかねない減便を避けるために中央バスや沿線市町と協議を続けていく。

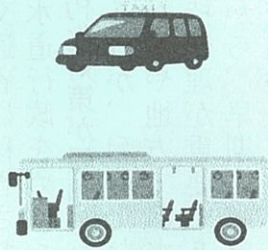
らんフェスタ赤平について

【質問】2001年より20回にわたり、「らんフェスタ赤平」は延べ29万人の来場者を迎え交流人口を増やし赤平市の知名度を高めてきた。しかし、今年の20回目の節目をもって終了とのことだが、「らんフェスタ赤平」の終了による交流人口の減少をどの様に思ふか伺う。

【答弁】歴史のあるイベントがなくなることは残念である。

【質問】赤平市にはランを生産している企業もあり、行政と企業が連携し「らんフェスタ赤平」に代わる「ラン」を活用した交流人口を増やす施策の考えについて伺う。

【答弁】「花」を活用した交流人口を増やす施策は持ち合わせていない。



参政党



今野 宙

農業振興について

【質問】農業の実態について国の政策や諸外国の影響もあり高齢化や経営難など厳しい状態が続いている。現在、市内全ての農家の方々に聞き込みをしていると伺ったがそれを踏まえ今後の支援や政策をどうお考えか伺う。

【答弁】今回寄せられた意見は、有害鳥獣から作物を守る電気柵購入補助、資材高騰によるビニールハウス等の購入補助、原油価格高騰による燃料費購入補助などである。今後については意見を踏まえ支援を検討していく。

オーガニックビレッジについて

【質問】農林水産省が国費支援で全国で取り組んでいる政策で農薬や化学

肥料に頼らない、遺伝子組み換え技術を利用しない等の食料システム戦略を行っている。食生活改善や健康に対しての意識や知識の啓発になるのではないかと考えるが赤平市でも取り組んでみてはどうか考えを伺う。

【答弁】この制度は有機農業の生産から消費まで、農業者、事業者、住民が一体となった取り組みであり地域ぐるみでの取り組みが必要不可欠である。課題や懸念点もあるがまずは農業者に対し様々な場面で情報提供をしていく。

宿泊施設について

【質問】前市長の任期時に立地調査し、採算が合わないため断念したと伺っている。現在も市民からの要望が多くあるが市長の考えを伺う。

【答弁】現状もニーズも少なく採算を取るのが難しい見解である。ただ宿泊施設だけで考えるのではなく飲食店や観光施設などによる賑わいの創出が必要だと考えている。

誘致に関しても現状は厳しいが今後の社会情勢等にも注視して考えていく。

公明党



丸山 勝正

水道事業について

【質問】赤平市の水道事業の中長期的な方向性を検討する材料は不足している。国や道との情報交換、水ビジネスの展示会や下水道展など積極的な情報収集をされてはどうか。

【答弁】令和6年4月1日に上水道の整備や管理の業務が厚生労働省から

国土交通省に移管されます。水道行政をめぐっては老朽化対策が課題となっているほか、耐震化など災害対策や地方での水道の維持管理が重要であることから、早期に応急給水や復旧等の支援対策を強化すると掲げています。移管に伴い事業内容としては水道事業の広域化や官民連携事業となっております。水道施設は市民のための大切なライフラインであり安心安全で安定した水道水の供給に努めなければならぬことから、上下水道における展示会や国などの動向も含め注視してまいりたい。

市制70周年について

【質問】市制施行70周年を祝す事業は検討されていると思うが、計画を伺う。

【答弁】具体的な内容につきましては、新年度予算の中で、現段階では記念式典については10月中旬に開催する予定、また各種記念事業につきましても、市制施行70周年の冠を付けた新たなイベントの実施や既存のイ

イベントにおきましても、各課において検討をおこなっているところです。

【質問】赤平市は映画の題材や赤平市出身の監督作品などがある。70周年のロゴマークの制作やキャラクターの公募などもよいと思うし赤平市ゆかりのある方の講演会も良いと思うがどうか。

【答弁】映像を使った赤平市の紹介や講演会、あかびら火まつり等におけるこれまでのイベント内容にプラスした取り組み等、赤平市民子供たちに喜んでもらえるようなイベントを検討したい。



新政クラブ



渡部 修之

確保すべき地域公共交通について

【質問】現在、赤平市の都市計画では、高齢化の進展による運転免許返納者が増える等交通者の増加が想定されるので、民間の交通機関では対処できない部分を地域公共交通の確保により対応することが求められると記載されているが、確保すべき地域公共交通とは、どのようなのを考えているのかを伺う。

【答弁】既存の地域交通についてはJRや中央バス、コープさっぽろのトックバス、赤平振興公社の保養バスなどがあり、来年度から本格運行に向けた準備を進めている乗り合いタクシーは既存の公共交通を補完する乗り物として考えている。

コンパクトなまちづくりの取組について

【質問】赤平市の都市計画に歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりと言うフレーズが何度も使われています。これは、赤平市内を7地区に分けて分散する住宅を集約し商業機能も再配置して、高齢者や子供たちが歩いて暮らせるまちづくりを目指して計画したものと思われるが、団地の除却以外で、歩いて暮らせるまちづくりを、どの様に計画し実行していく予定なのかを伺う。

【答弁】人口減少や高齢化が進む現状を踏まえ、分散する住宅を集約する必要性の観点から歩いて暮らせるコンパクトまちづくりを進めることとしてますが赤平市都市計画では、より具体的なものになっていないので今後、まちの将来像を見据え、上位計画である、赤平市総合計画等との整合を図りながら歩いて暮らせるコンパクトまちづくりを目指し、検討していく。

通学路交通安全について

【質問】通学路の要対策箇所・合同点検を実施しているが、冬期間の転倒防止対策を強化すべきだと思うが教育長の見解を伺う。

【答弁】砂箱の増設等は非常に難しいので転倒事故等が発生した場合は、その都度、道路管理者に改善を、願います。



議会改革の取り組み

赤平市議会は、議会改革を進めています。その一環として今年度より「出前懇談会」をスタートします。また、これまでも行ってきた「議場開放」についても要件の緩和を行いより利用しやすいものに改善しました。

出前懇談会

～議員がおじゃまします～

議員が皆様のところに訪問し、御希望のテーマに沿ってお話や意見交換をすることで、市民の皆様との相互理解を深め、開かれたの実現を目指します！

対象：市内に在住又は市内に通勤している方
人数：5人以上の団体及びグループ
場所：ご指定の場所に伺います。

時間：2時間程度

懇談テーマ：議会活動やまちづくりに関係することであればテーマは自由です。

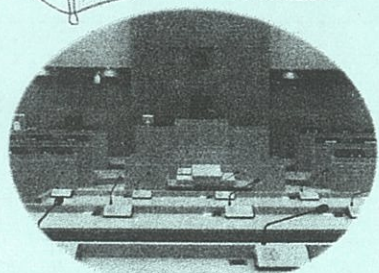
議員：原則として全議員が伺います。

申し込み：議会事務局に電話にてお申し込みください。

012513211858 (直通)

議場開放

赤平市議会議場を開放いたします。



閉会中の使われていない議場を開放し、市民活動の場として使用していただくことを目的として議場を開放いたします。詳しくは、ホームページの赤平市議会議場開放に関する要綱をご覧ください。

議会の動き

- 1 1 / 9 全国市議会議長会第233回理事会・第115回評議員会合同会議（東京都）
- 1 1 / 1 4 議会報告会と意見交換会（議場）
- 1 1 / 1 6 議会報告会と意見交換会（東公民館）
- 1 1 / 2 2 議会運営委員会
- ” 議会改革検討協議会
- 1 1 / 2 4 中空知広域市町村圏組合議会第2回定例会（滝川市）
- ” 中空知衛生施設組合議会第2回定例会（滝川市）
- ” 中・北空知廃棄物処理広域連合議会第2回定例会（滝川市）
- 1 1 / 2 9 赤平市議会第3回臨時会
- 1 1 / 3 0 石狩川流域下水道組合議会第2回定例会（滝川市）
- ” 空知教育センター組合議会第2回定例会（滝川市）
- ” 滝川地区広域消防事務組合議会第2回定例会（滝川市）
- 1 2 / 7 議会運営委員会
- ” 議会改革検討協議会
- 1 2 / 1 2 第4回定例会（15日まで）
- 1 2 / 1 3 行政常任委員会

- ・赤平市空家等の適正管理に関する条例の一部改正について
- ・赤平市国民健康保険条例の一部改正について
- ・赤平市市営住宅条例の一部改正について
- ・教育行政事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について
- ・子育て世帯向け住宅について

※各議案に対する賛否は赤平市議会ホームページに掲載されています

編集後記

昨年度は長きに渡ったコロナ禍も落ち着き、火まつりを筆頭に多くのイベントが市内でも再開、開催されました。また昨年は改選期の年でもあり、3名の新人議員が加わり、新しい10人でのスタートとなりました。議会報告会、カフェ議会等お忙しい中でのご参加ありがとうございました。皆様からの意見や要望をしっかりと受け止め、各議員から12月定例会で反映し質問を行いました。今後の赤平を少しでも良い方向にと議員一同、情報共有や相談をしながら考えております。本年もしっかりと尽力して参りたいと考えておりますのでご意見、要望等ありましたら何でも気軽にご相談お待ちしております。今年も1年間宜しくお願い致します。

（今野）

かわら版編集委員会

委員長

木村 恵
安藤 繁
今野 宙
丸山 勝
若山 武
渡部 修之

※このかわら版に関するお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。